

幼稚園・保育園

実践×理論で考える
組織マネジメント

19



中戸 華恵

めぐみこども園園長

①

このような取り組みの結果、保育に参加し

次回は2月2日付掲載

めぐみこども園では、保育者の「働き方改革」も進めています。保育者の心と時間にゆとりがあることで、保育者の意欲や主体性が高まり、保育の質向上にもつながっています。正職員の短時間勤務制度や週休2日制度、メンター制度、ノンコンタクトタイムの導入、国の最低基準を上回る職員数を配置し

て休暇を取りやすくするなどの、質の高い保育を続けるための仕組みをつくっています。土曜保育の出勤体制も、保育者の選択制です。

ICTを最大限生かし業務見直し
Tシステムを導入し、請求管理、保育記録関係や午睡・排せつの管理、バスの位置情報、子どもの制作物の動画配信など多様な業務を
とができます。専用アプリを使うことで、家庭で子どもと保護者が一緒に絵本を選んでイブリーに取りに来たり、保育者を目指す
行事のときの応援や手伝い、見守り、夕方の絵本の読み聞かせなどを行います。短大や大の園児・生徒・学生の受け入れや就職支援、外国人の職員採用も始めており、多文化共生の実現に向けたさまざまな取り組みを進めています。

ICTを最大限生かし業務見直し
Tシステムを導入し、請求管理、保育記録関係や午睡・排せつの管理、バスの位置情報、子どもの制作物の動画配信など多様な業務を
とができます。専用アプリを使うことで、家庭で子どもと保護者が一緒に絵本を選んでイブリーに取りに来たり、保育者を目指す
行事のときの応援や手伝い、見守り、夕方の絵本の読み聞かせなどを行います。短大や大の園児・生徒・学生の受け入れや就職支援、外国人の職員採用も始めており、多文化共生の実現に向けたさまざまな取り組みを進めています。

ICTを最大限生かし業務見直し
Tシステムを導入し、請求管理、保育記録関係や午睡・排せつの管理、バスの位置情報、子どもの制作物の動画配信など多様な業務を
とができます。専用アプリを使うことで、家庭で子どもと保護者が一緒に絵本を選んでイブリーに取りに来たり、保育者を目指す
行事のときの応援や手伝い、見守り、夕方の絵本の読み聞かせなどを行います。短大や大の園児・生徒・学生の受け入れや就職支援、外国人の職員採用も始めており、多文化共生の実現に向けたさまざまな取り組みを進めています。

「わくわくのサイクル」が
た保育者も増えており、
「わくわくのサイクル」が
た保育者も増

めぐみこども園では、保育者の「働き方改革」も進めています。保育者の心と時間にゆとりがあることで、保育者の意欲や主体性が高まり、保育の質向上にもつながっています。正職員の短時間勤務制度や週休2日制度、メンター制度、ノンコンタクトタイムの導入、国の最低基準を上回る職員数を配置し

同時に業務の見直しも進めており、ICTのメリットを最大限に生かしています。保育者に1人1台タブレット端末を支給し、その中で業務を進めることで毎日の振り返りのツールとなり「みんな子どもを見る視点」が育っています。

一つ システムで管理することで業務をスリム化でき、子どもと向き合える時間がより多く確保できています。そして、ICTを活用した無人のライブラリーを地域の図書館として設置しました。乳幼児図書をはじめ保育教材を置くことで、保育者は園内で借りるこ
学生や養成校の教員に活用してもらったりもしています。
日頃から地域に開かれた活動を行っていま
学校にチラシを配り、希望者にボランティアとして保育に参加してもらっています。
具体的には、中・高
卒園者も多数います。
実際に、こうした流れの中で当園に就職した保育者も増

